# Plain Language Summary Internat onal Development

2017

中小企業に対するビジネス支援サービスは 企業業績を改善するように思われる



平均すると、中小企業に対するビジネス支援は企業実績や 雇用創出力、労働生産性、実 行力を改善するように思われる

中小企業(SMEs:small and medium enterprises)に対する支援は、彼らの収入や利益、雇用創出力、労働生産性、投資力を改善することができる。しかし、これらの影響は大きくなく、この介入による費用対効果は判然としない。イノベーションへの効果も不明である。

#### このレビューは何に関するものか?

収入や利益の増加、雇用の創出を行うことで経済成長を促し、貧困を減少させることを目指して、中・低所得国の中小企業(SMEs)を支援するプログラムには多額の財源が使われている。

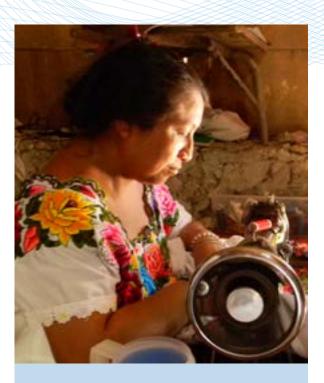
このキャンベルレビューでは、企業の雇用創出力や労働生産性だけでなく、収入、利益、生産性を含む中小企業の実績の評価という点に対する、プログラムの影響に関するエビデンスを要約している。

# このレビューの主な結果は何か?どのような研究が含まれるか?

このレビューが対象とした、中小企業(従業員250名以下)を対象とした介入について調査した。介入は、租税の単一化や輸出および外部市場へのアクセスを行わせること、イノベーション政策への支援、現地生産システムへの支援、トレーニングと技術支援、中小企業の資金調達と信用保証プログラムが含まれていた。40件の研究から得られた知見がこのレビューで要約されている。これらの研究では、18の中・低所得国から得られたエビデンスが提示されており、26件が中南米、6件がアジア、5件がアフリカのプログラムについて分析した研究であった。

### このレビューの目的は何か?

このキャンベル系統的レビューは、中・低所得国におけるビジネス支援サービスが企業実績や経済開発に与える影響について評価している。このレビューは40件の研究結果を要約している。



### このレビューはどれくらい最新のものか? このレビューに関する検索は2014年12月に更新され、レビューは2016年1月に発行された。

### キャンベル共同計画とは何か?

キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

### この要約について

この要約はハワード・ホワイトHoward White (Campbell Collaboration)によって準備されたものである。Campbell Systematic Review 2016:01 'The Impact of Business Support Services for Small and Medium Enterprises on Firm Performance in Low- and Middle-Income Countries: A Systematic Review' by Caio Piza, Tulio Cravo, Linnet Taylor, Lauro Gonzalez, Isabel Musse, Isabela Furtado, Ana Cristina Sierra and Samer Abdelnour (DOI: 10.4073/csr.2016.1)にもとづいている。この要約はタニヤ・クリスチャンセンTanya Kristiansen(Campbell Collaboration)よって再デザイン、作成された。

## ビジネス支援サービスは目的通りに機能しているのか?

平均すると、中小企業に対するビジネス支援は彼らの業績、雇用創出力、労働生産性、投資投資能力を改善しているように思われる。一方でイノベーションに対する効果は不明である。

助成金、技術的支援や租税の単一化プログラムは 企業の実績や雇用創出を改善することができる。ま た技術的支援を受けることで、労働生産性も改善 する可能性がある。輸出の促進やイノベーション・プログラムには、輸出やイノベーションに対してプ明確 に作用するものの、それらが企業業績や雇用創出 改善したというエビデンスはない。

しかし、検証されたプログラムの効果はそれほど大きくない。プログラムの費用対効果が高いかどうかを評価するために必要なデータが、ほとんどの研究に含まれていなかった。

### この結果は何を意味するのか?

全般的にみれば中小企業支援には、企業業績の 多くの点に対してプラスの効果があるが、いくつか注 意しなければならない。エビデンスが欠如しているこ とから、調査された介入による結果は限定的なもの である。また、得られたエビデンスも主に中南米諸 国におけるプログラムについてである。多くの研究で バイアスが存在する可能性がある。プログラムの実 装コストについて報告した研究はほとんどなかったこ とから、費用対効果を比較することは不可能であ る。サハラ砂漠以南のアフリカにおけるこれらのプロ グラムに関する研究は、小規模事業への支援が開 発プロセスにおいて果たす役割についての理解に 貢献するので、特に奨励される。

